

- 聴講言語を指定する場合

「通訳」 ボタンをクリック → 「英語」 「日本語」 を選択

If you wish to listen to the orientation in English, press "Interpretation" and select "English".

- 初期設定

パネリストの声がそのまま聴こえる「オフ」状態





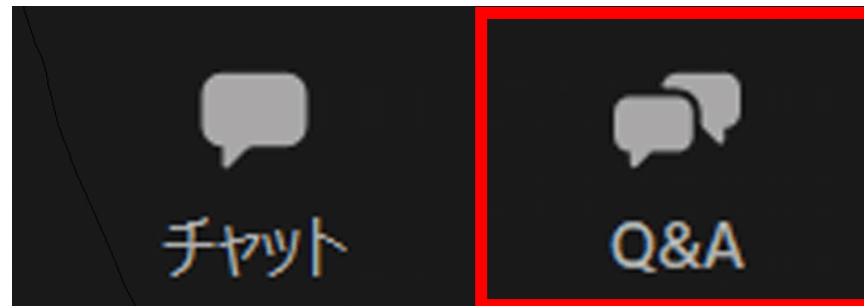
Tokyo Tech

**「高度人材育成博士フェローシップ」から
「SPRING」へ
- 継続者向け説明会 -**

**教育プログラム推進室
高度人材育成博士フェローシップ事務
(cps2.f.app@jim.titech.ac.jp)**

令和6年3月14日

- 「Q&A」でいつでも質問可能です
- 最後の質疑応答時間となるべく多く回答します



ご挨拶

三宅 美博

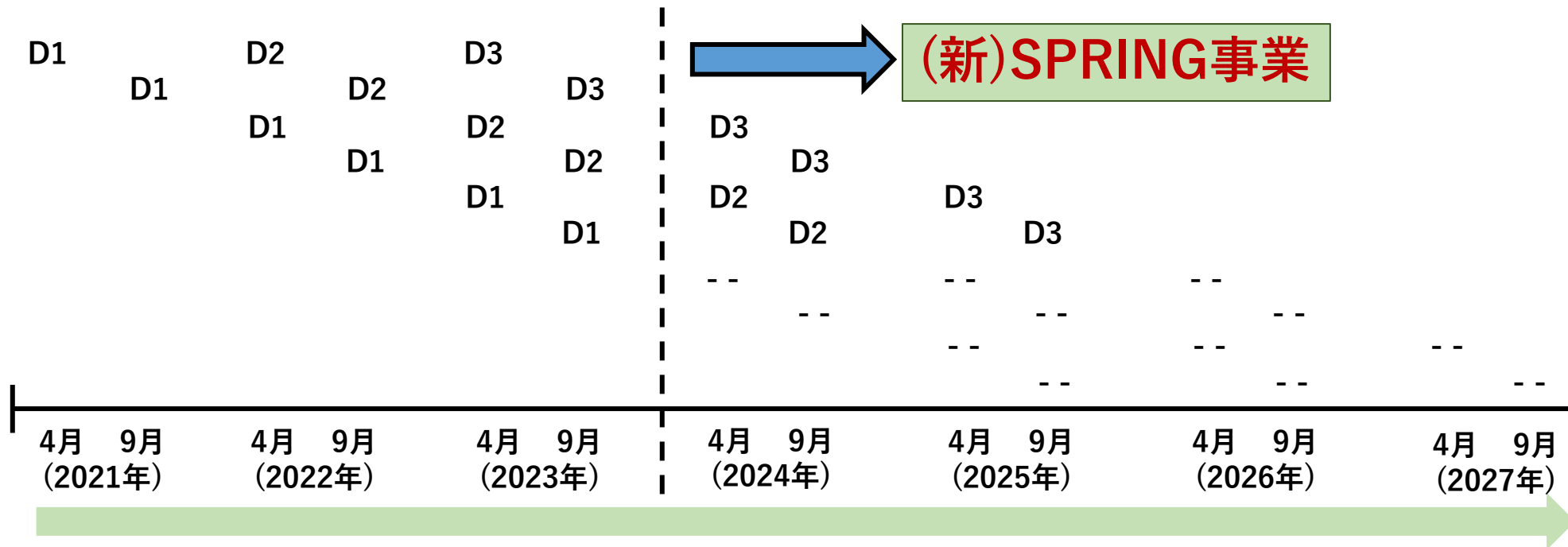
情報理工学院副学院長（教育担当）
高度人材育成博士フェローシップ委員会委員長

主にお伝えしたいこと

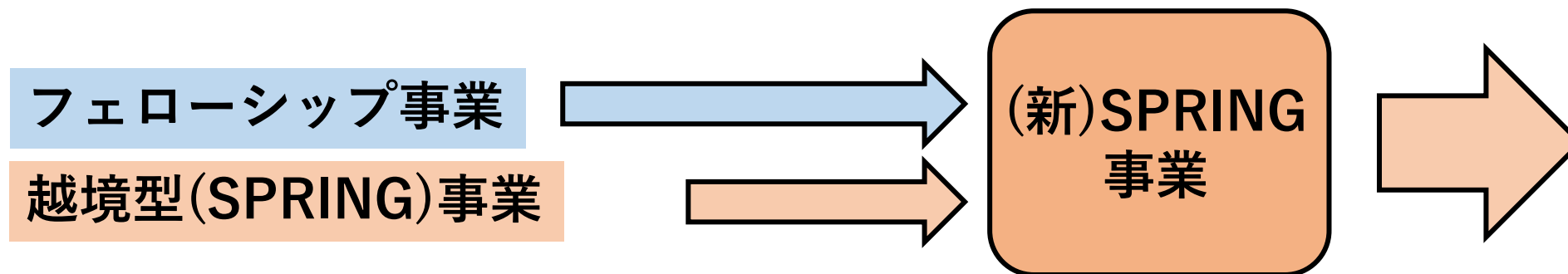
- これまでの経緯
- 経済支援の内容
- 学修プログラム（義務）の内容
- 提出する報告書

高度人材育成博士フェローシップ

- 2021年2月 大学フェローシップ創設事業に本学採択（支援人数40名/年、当初7年間の事業）
- 2021年4, 9月 春期(30名), 秋期(10名)フェローシップ学生採択
- 2022年3月 学振特別研究員採択により6名が辞退し、繰上りで新たに6名採択
- 2022年4, 9月 春期(28名), 秋期(12名)フェローシップ学生採択
- 2023年1月 **2024年度からフェロー、越境型両制度を一本化した新SPRING事業（仮称）を公募する方向で調整中である旨を文科省が発表**
- 2023年3月 学振特別研究員採択等により14名が辞退し、繰上りで新たに14名採択
- 2023年4, 9月 春期(28名), 秋期(12名)フェローシップ学生採択



- 博士支援事業を継続していくにあたり、二つの事業が併存することによる問題を解消し、各大学における事務や学生等の負担を軽減するため令和6年度より両事業を一本化。
* フェローシップでは大学と国のマッチングファンドで事業を運営していたが、SPRINGではすべて国(JST)の予算で運営。部局負担はなくなる。
- 一本化にあたっては、学生への支援がより手厚いSPRING事業の枠組みに移行する。その際、円滑に両事業の取組が継続されるよう配慮。



次世代研究者挑戦的研究プログラム

SPRING (Support for Pioneering Research Initiated by the Next Generation)

皆さんは、今後は、SPRING事業の下で支援を受けます。

・・・とはいっても、できるだけ、これまでのフェローシップ制度からの継続性を考慮しています。

経済支援について

(新) 2024年4月以降の経済支援

(支援期間：フェローシップ期間を含めて最長3年間)

- 研究奨励費 (<=研究専念支援金)

- 👉 (UP!!) 月額18万円(年額216万円)

- 研究費

- 年額30万円

- 研究室に配分。予算詳細責任者は指導教員

- 予算詳細コードは新たに設定

- 👉 これまでのコードは使わないこと

- 授業料全額免除 (フェローシップ継続学生のみ)

義務について

以下の要件のうち、**どちらか**を履行すること

- a) 学外研鑽（海外または国内の学外機関での90日以上研鑽（組み合わせ可）
海外派遣が望ましいが、国内企業・学術機関での研究実施やインターンシップも可とする。
- b) 科目履修(b1 or b2 or b3 or b4)
 - b1. DSAI*(エキスパートレベル4単位 & エキスパートレベルプラス3単位)
 - b2. DSAI*(エキスパートレベル4単位) & アントレプレナーシップ(3単位)
 - b3. DSAI*(エキスパートレベルプラス3単位) & アントレプレナーシップ4単位
 - b4. 日本語・日本文化科目8単位<留学生のみ選択可>

* DSAI: DS&AI全学教育プログラム

「キャリア開発・育成コンテンツリスト」より、イベント・講座等に参加(年2回)

本プログラムの指定する研究会やワークショップ、セミナー等に参加(年1,2回程度)

<日本語学習未経験の留学生のみ>

「日本語・日本文化科目一覧」の「初級日本語1」及び「初級日本語2」を履修

研究力向上

研1

コンソーシアムのプロジェクトや研究発表会に参加 (1回)

研2

DS&AI特別専門学修プログラム(8単位)

研3A

主・副AAとの三者面談(年2回)

研3B

IIR基礎研究機構の懇談会に参加(1回)

研4

英語プレゼン・ライティング関係の科目を履修(1回)

キャリアパス形成

キ1

Dr's K-meetに参加 (1回)

キ2

研究インターンシップ(1回)

キ3

キャリア科目 or 実践AIデータサイエンス科目を履修(1回)

その他

他1

博士課程の魅力発信(年1回)

高度フェローシップの義務 => SPRING - (1)

以下の要件のうち、**どちらか**を履行すること

a) 学外研鑽 (海外または国内の学外機関での90日以上) (組み合わせ可)

キ2 研究インターンシップ(1回)

インターンシップも可とする。留学生は母国以外での研鑽を推奨する。

b) 科目履修(b1 or b2 or b3 or b4)

b1. **DSAI**(エキスパートレベル4単位 &

研2 **DS&AI特別専門学修プログラム**(8単位)

キ3 **キャリア科目 or 実践AIデータサイエンス科目を履修(1回)**

04. 日本語・日本語文化科目0単位<留学生のみ選択可>

研1

コンソーシアムのプロジェクトや研究発表会に参加 (1回)

研3A

主・副AAとの三者面談(年2回)

研3B

IIR基礎研究機構の懇談会に参加(年1回)

キ1

Dr's K-meetに参加 (1回)

他1

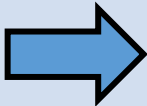
博士課程の魅力発信(年1回)

本プログラムの指定する研究会やワークショップ、セミナー等に参加(年1,2回程度)

フェローシップからの継続学生は不要

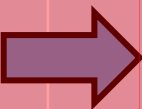
<日本語学習未経験の留学生の「日本語・日本語文化科目0単位」の「初級日本語1」を履修

高度フェローシップの義務 => SPRING – (2)

高度人材育成博士フェローシップ	SPRING
<p>研究インターンシップ</p> 	<p>学外研鑽（海外または国内の学外機関での90日以上の研鑽（組み合わせ可））</p> <p>海外派遣が望ましいが、国内企業・学術機関での研究実施やインターンシップも可とする。</p>

1) フェローで90日以上の研究インターンシップを達成していればSPRINGの学外研鑽として達成

高度フェローシップの義務 => SPRING - (3)

高度人材育成博士フェローシップ	SPRING
<ul style="list-style-type: none">● DSAI特別専門学修プログラム● 実践AIデータサイエンス科目	<p>b1. DSAIエキスパートレベル4単位 & エキスパートレベルプラス3単位</p> <p>b2. DSAIエキスパートレベル4単位 &アントレプレナーシップ3単位</p> <p>b3. DSAIエキスパートレベルプラス3単位 & アントレプレナーシップ4単位</p> <p>b4. 日本語・日本文化科目8単位 <留学生のみ選択可></p>
<p>2a) DSAI特別専門学修プログラム(8単位)をそのまま達成</p> <p>2b) フェローの科目履修分を併せてSPRINGのb1達成</p> <p>DSAI特別専門学修プログラム & 実践AIデータサイエンス  b1. DSAIエキスパートレベル4単位 & エキスパートレベルプラス3単位</p>	

DS&AI特別専門学修プログラムとDS & AI全学教育プログラム



~2023

	DSAI 特別専門学修 プログラム	DSAI 全学教育 プログラム
基盤データサイエンス・同発展	✓	✓
基盤データサイエンス演習・同発展	✓	✓
基盤人工知能・同発展	✓	✓
基盤人工知能演習・同発展	✓	✓
応用 AI・データサイエンス A・同発展	✓	✓
応用 AI・データサイエンス B・同発展	✓	✓
応用 AI・データサイエンス C・同発展	✓	✓
応用 AI・データサイエンス D・同発展	✓	✓
実践 AI・データサイエンス A	*	✓
実践 AI・データサイエンス B	*	✓
実践 AI・データサイエンス C	*	✓
先端データサイエンス・AI第一・同発展		✓ (プラス)
先端データサイエンス・AI第二・同発展		✓ (プラス)
先端データサイエンス・AI第三・同発展		✓ (プラス)

* フェローシップのキャリア科目

	DSAI 特別専門学修 プログラム	DSAI 全学教育 プログラム
統計的学習理論	✓	
応用確率論	✓	
情報可視化	✓	
実践的並列コンピューティング	✓	
自然言語処理	✓	
情報の組織化と検索	✓	
複雑ネットワーク	✓	
コンピュータグラフィクス	✓	
分散アルゴリズム	✓	
統計数理	✓	
計算機支援数理	✓	
バイオインフォマティクス	✓	
先端人工知能	✓	
マルチメディア情報処理論	✓	
先端データ工学	✓	
クラウドコンピューティングと並列処理	✓	
高性能科学技術計算	✓	
先端情報セキュリティ	✓	

DS&AI特別専門学修プログラムとDS & AI全学教育プログラム



2024~

	DSAI 特別専門学修 プログラム	DSAI 全学教育 プログラム
基盤データサイエンス・同発展	✓	✓
基盤データサイエンス演習・同発展	✓	✓
基盤人工知能・同発展	✓	✓
基盤人工知能演習・同発展	✓	✓
応用実践データサイエンス・AI発展第一 A,B,C	✓	✓
応用実践データサイエンス・AI発展第二 A,B,C	✓	✓
応用実践データサイエンス・AI発展第三 A,B,C	✓	✓
先端データサイエンス・AI第一・同発展		✓ (プラス)
先端データサイエンス・AI第二・同発展		✓ (プラス)
先端データサイエンス・AI第三・同発展		✓ (プラス)

	DSAI 特別専門学修 プログラム	DSAI 全学教育 プログラム
統計的学習理論	✓	
応用確率論	✓	
情報可視化	✓	
実践的並列コンピューティング	✓	
自然言語処理	✓	
情報の組織化と検索	✓	
複雑ネットワーク	✓	
コンピュータグラフィクス	✓	
分散アルゴリズム	✓	
統計数理	✓	
計算機支援数理	✓	
バイオインフォマティクス	✓	
先端人工知能	✓	
マルチメディア情報処理論	✓	
先端データ工学	✓	
クラウドコンピューティングと並列処理	✓	
高性能科学技術計算	✓	
先端情報セキュリティ	✓	

高度フェローシップの義務 => SPRING - (4)

高度人材育成博士フェローシップ	SPRING
<ul style="list-style-type: none"> - コンソーシアムのプロジェクトや研究発表会に参加(1回) - IIR基礎研究機構の懇談会に参加(1回) - Dr's K-meetに参加(1回) - 博士課程の魅力発信(年1回) - 主AA・副AAとの三者面談(年2回)* 	<p>「キャリア開発・育成コンテンツリスト」より、イベント・講座等に参加(年2回)</p>
<p>これまでの実績をSPRINGに反映。3年では6回で達成とする。 今後は、SPRINGのコンテンツリストよりイベントを選択</p>	
<p>* 主AA・副AAとの三者面談は全体で1回相当とする</p>	

以下は新しく実施をお願いします

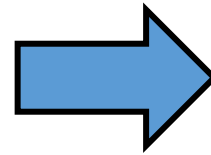
- 本プログラムの指定する研究会やワークショップ、セミナー等に
参加（年1,2回程度）

以下はSPRINGではなくなります

- 博士課程の魅力発信
- 主・副指導教員との面談&面談報告書（年2回）

フェロースhip

- 学修プログラム等報告書
(年二回)
- セミナー,研究会,プログラム等の報告書
(イベント毎)
- 主及び副AAとの面談報告書
(年二回)



SPRING

- 実施報告書 (年一回)
- 研究報告書 (年一回)
- 研究費計画書 (年一回) *
- 収支簿 (年一回)

詳細は追ってご案内いたします。

(* 研究費計画書は近日中に提出していただく予定)

(新規)

- ジョブ型研究インターンシップ事業のマッチング専用システムへ登録
- 博士後期課程修了後もキャリアに関する追跡調査に最長 10 年間協力

(継続)

- 日本学術振興会特別研究員（DC2）に応募
- 指定する研究倫理・コンプライアンス教育を受講
- 論文謝辞等に本プログラムに助成を受けたことを表記
- 確定申告



Tokyo Tech

ありがとうございました。

